

# テーマ：「環境・災害・ボランティア」

## ～いま、私たちにできること～

近年、各地において深刻な環境問題や甚大な自然災害が頻発する中、これを踏まえた日頃からの備えと地域の防災力向上が重要とされる。本プログラムは、「環境・災害・ボランティア」をテーマに、東日本大震災からの復興の歩みを振り返り、「いま、私たちにできること」を共に考える機会として開催する。

大規模な災害から身を守るためには「公助」だけでなく「自助」と「共助」が不可欠です。災害の経験と教訓を共有し、地域の担い手となる一人ひとりが「自分事」として行動につなげていくことを期待します。  
(宮城県知事 村井嘉浩)

日時 **11月21日(火)** 9:50～15:50(開場 9:30)

会場 仙台大学川平キャンパス(仙台市青葉区川平)

特別講演

①特別講演Ⅰ <環境> (10:00～11:00)

私たちが望む未来 = The Future We Want =

講師:ケンタロ・オノ 氏(一社)日本キリバス協会代表理事



ケンタロ・オノ 氏

②特別講演Ⅱ <環境・防災> (11:10～12:00)

「海岸林回復プロジェクト」～東日本大震災後の海岸林の回復状況～

講師:遠藤 教昭 氏(仙台大学 体育学部スポーツ情報マスメディア学科 教授)

基調講演

③基調講演 <防災・ボランティア> (13:30～14:30)

ニュージーランド地震(2011)報告「災害ボランティア活動」

講師:ピリー・オースティン 氏(ニュージーランド カンタベリー大学 教授)



ピリー・オースティン 氏

パネルディスカッション

④パネルディスカッション <環境・防災・ボランティア> (14:40～15:40)

「いま、私たちにできること(SDGs)」

パネラー:明成高、二華高、城南高、仙台大、カンタベリー大

コーディネーター:見上 一幸 氏(仙台ユネスコ協会会長 前宮城教育大学学長)

ハイブリッド開催(会場参加・オンライン参加):申し込み時に選択できます

定員:100人(会場参加)

参加費無料(公益財団法人スポーツ安全協会奨励助成事業)

お申込み 右のQRコードまたはURL(<https://forms.gle/Lwyw3TBhbtScEmja8>)から11月13日(月)までにお申し込みください。

※ お申し込みの際にお預かりする個人情報は、本プログラムのみで使用し、第三者に提供することはありません。



お問合せ

仙台大学 スポーツ健康科学研究実践機構事務課  
地域防災人材育成プログラム「SDGs防災セミナー」係  
TEL 0224-55-1337/Eメール kikou@sendai-u.ac.jp

主催:仙台大学  
共催:仙台ユネスコ協会  
後援:宮城県 柴田町